

Vol.46 PE・役員になってよかったこと

JSPE の会員の皆様は、これから PE になっていこう、PE として活躍していこうという方々ですが、実際に PE になったことでどのようないいことがあったのでしょうか？現 JSPE 理事の方に率直なコメントをいただきました。

※率直な思いを提供いただける会員のかたは広報部会 (public.2007@jspe.org) まで一報ください。

<p>PE-0214 小口 力 JSPE 副会長(2019-20) 教育部会長 広報部会 副部会長 渉外部会 副部会長</p> 	<p>通常の会社業務では考えられないような広い分野の方々と交流ができる。CPD セミナー他イベントに積極的に参加する意識が高まった。結果として勉強になり、会員との交流が深まった。</p> <p>世界の技術者資格、技術者の教育への関心が高まった。</p> <p>会社業務では使わないパソコン上で利用するツールを覚えた、使用した。必ずしも理事就任とは関係しないが NSPE 総会へ参加の機会を得た。</p> <p>イベントのあとの小宴会で交流を楽しめる。</p>
<p>PE-0253 西久保 東功 JSPE 副会長(2019-20) 広報部会長 企画部会長</p> 	<p>なぜ PE になったか？という質問については、世界で戦うにあたって敵と同じ土俵に立ちたかったという思いが原点にあります。学生時代の恩師から、「世界で電気電子系の卒業生は毎年 4 万人いて、前後 1 年の卒業生である 12 万人と戦っていく必要がある」と教えていただきました。また、学生時代に受けた講義で FE 試験の紹介があり、「同じ電気系のカリキュラムでも、アメリカでは材料、機械、構造、経済などの他分野も基礎として知っている」という危機感を覚え同じ土俵で戦うため PE を目指しました。PE 登録までの過程で NCEES の学歴審査や自身のエンジニアとしてのキャリアの第 3 者承認が得られ、グローバルで戦える自身も身につきました。業務上で PE ライセンスを直接使うことはありませんが、エンジニアとしてのキャリア形成と自信という意味では、非常に役立っていると感じています。あと、JSPE として他分野の方との交流とそこから刺激を得られるのもメリットだと感じています。</p> <p>なぜ役員になったか？という質問については、自分がこれまでの JSPE 役員の方々にしてもらったことを別の会員にすることで次の世代へ受け渡したいという思いと、エンジニアだけでなく協会運営という別の領域にも手を伸ばすことで自分自身も成長できると感じたためです。理事はボランティアですので手を抜こうと思えば抜けますし、力を入れても限度はありません。でも、せっかくならば機会を使って、最大限自分のキャリアに役立てようという思いが強いですね。</p>